

神奈川県自然公園だより

(財)神奈川県公園協会 自然公園課 (〒231-0015 横浜市保土ヶ谷区花見台4-2 TEL045-211-5483 FAX045-338-1866 http://www.kanagawa-park.or.jp/)

陣馬自然公園センター 【藤野町佐野川659-3 TEL0426-87-5270】



ニリンソウ

4月は寒暖の差が激しく、冬に戻ったような日もあり、陣馬山・生藤山では4日18日に雪景色となりました。登山者はこの降り出した雪にびっくりし、下山してきました。

4月22日より、山の中腹から張られた三本のワイヤーロープに鯉のぼりが初夏の爽やかな風に吹かれ、今年も元気に泳ぎました。訪れた登山者・観光客など各々が、記念に新緑に映える「鯉のぼりの谷渡し」

をカメラに収めていました。

4月29日には毎年恒例となっている藤野町主催の「陣馬山ハイキング」が実施されました。各コースから山頂を目指す参加者は700名にもなったそうです。その中で和田地区からの参加者は70名でした。この日は一般の登山者も多く、山頂もいちだんと賑わっていたそうです。

花々も賑わっています。ガマズミ・ウツギ・フジ・ヤマツツジなど、木々の花々が新緑の山々に彩りを添えています。センター周辺には、ヤマブキ・オダマキ・ニリンソウ・ムラサキツツジなどが、陣馬山にはイカリソウ・ミミガタテンナンショウ・ヒトリシズカ・チゴユリ・フデリンドウ・ハルリンドウなどの花々が咲き、登山者の目を楽しませています。花々の競演を愛で、陣馬山にいらっしゃいませんか。(荒井)



ヒトリシズカ

丹沢湖ビジターセンター 【山北町玄倉515 TEL0465-78-3888】

新緑が気持ちの良い季節ですね！この時期に山歩きをすると、瑞々しい葉っぱからたくさんの元気をもらえる気がします。西丹沢にもたくさんのおすすめ登山コースがありますが、今回は比較的行程が短く、360度の展望が望める「大野山(723.1m)」をご紹介します。大野山へは、御殿場線の谷峨駅または小田急線の新松田駅から西丹沢行きのバスに乗り大野山入口バス停から歩き出します。ゆっくり歩いて、1時間半～2時間程で山頂です。

山頂は牧場になっており、展望が抜群です！南には秦野や平塚などの町並み、天気の良い日には相模湾も望めます。北には丹沢山、蛭ヶ岳、大室山など丹沢の山々と富士山が一望できます。「あの山はツツジが素晴らしかったね～」「今度はぜひあの山に挑戦しよう！」なんて、おしゃべりをしながら山々を眺めるのはとても楽しいものです。

また、毎年4月29日には山頂で山開きが行われます。今年は晴天に恵まれ、たくさんの方で賑わいました。丹沢湖ビジターセンターも出展し、ビジターセンターの紹介や望遠鏡体験会を実施しました。やはり展望を楽しむ望遠鏡は人気で、子どもから大人まで楽しむ姿がみられました。(齋藤)



大野山から見た丹沢の山々



大人気の望遠鏡体験会

宮ヶ瀬ビジターセンター 【清川村宮ヶ瀬940-15 TEL046-288-1373】

目にまぶしいほどの新緑が宮ヶ瀬の山々を包んでいます。その緑に映えるように、白い花々が咲き誇っています。その代表選手はミズキ。花の後になる実は鳥たちの大好物。



ホオノキ

ミズキは、鳥が種を運び増えると言われていました。確かに、宮ヶ瀬の森にとりわけ多いような気がしま



ミズキ

す。大輪の花はホオノキ、近づくところのかな香りを漂わせています。ウツギやヤブデマリも低木ながら存在感があります。車道からも見る事の出来る花たち、宮ヶ瀬にお立ち寄りの際には、車窓からの眺めを楽しんでみてください。でも、脇見運転は控えてくださいね。

春から夏にかけては、鳥たちの子育ての季節でもあります。ビジターセンター向かいの建物、県立やまなみセンターには毎年イワツバメが巣造りをします。例年は残っている巣を修繕して使うのですが、今年は、巣が全部取り払われてしまったために、一から作り直します。早く巣が完成すれば、一年に2回子育て出来るのですが、今年はどうなることでしょうか。間近で見ることの出来る子育て作業、そーっと見守っていきましょう。(長澤)



イワツバメ

秦野ビジターセンター 【秦野市堀山下1513 TEL0463-87-9300】

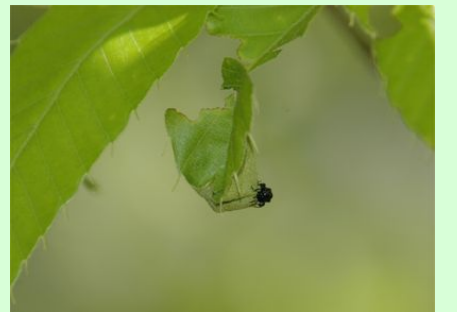
『オトシブミのゆりかご作り』 皆さんは、オトシブミという虫を知っていますか？本で読んだ人や、聞いたことのある人もきっといるでしょう。葉っぱに卵を産み、その葉をくると器用に巻いて、新しく産まれる幼虫のための安全な場所と食事となる葉っぱのゆりかごを作ることのできる有名な虫です。

今までは、木の下に落ちているオトシブミのゆりかごを見つけることがあったのですが、そのゆりかご作りを今回“初”目撃しました。もうすでに葉の半分以上は巻かれていたのですが、それでも“初”ですから、観察開始です。

葉っぱの中では細長い部類に入りそうなクヌギの葉で、もそもそ…。葉の端から端へ行ったりきたり、時には見えない裏へ回り込んで、足と頭を使って、葉っぱを押し込み、足で抑え、引っ張り上げ、気がつくといわゆる“落とし文”の完成です。大きな変化は無く、少しずつ少しずつ見逃してしまいそうなほどゆっくりと、でもしっかりと巻いていました。

「巻くのは大変なのだからこんな細長い葉っぱを選ぶ必要はないのに…」とってしまうのですが、最後は、念入りにチェックをし、次の葉っぱへと移動して行ってしまいました。

“落とし文”は地面に落とす種類もいれば、そのままにしておく種類もあります。もし発見したときは、『小さな虫の母の大きな愛が詰まったゆりかご』だということを思い出してください。(篠島)



西丹沢自然教室 【山北町中川867-2-9 TEL0465-78-3940】

『西丹沢はツツジの季節』 5月になるとツツジの花が咲くので、西丹沢には一年で最も多くの登山者が訪れます。なかでも一番人気があるのが檜洞丸(ひのきぼらまる)のゴヨウツツジ(別名:シロヤシオ)の清楚な白い花です。つづじ新道の標高1300m前後では、花のトンネルのようになるのが楽しみの一つです。

ゴヨウツツジのほかには、標高の高い稜線ではトウゴクミツバツツジがピンク色の花を咲かせ、紅白同時にツツジの花を楽しめます。登山口の沢沿いではヤマツツジも咲いています。ツツジの仲間はシカの影響をあまり受けずに残っているので、この時期に花を楽しむことができます。

今年の西丹沢の山開きは5月27日(日)8時から西丹沢自然教室を会場に行われます。山頂付近では、ゴヨウツツジの花もまだ咲いていることでしょう。安全登山の祈願をしますので、関心のある方はぜひお出でください。(倉持)



トウゴクミツバツツジ



ゴヨウツツジ(別名:シロヤシオ)